

# 音訳サポート部員(随時)募集 !!

“音訳”とは・・・

目の不自由な人・身体不自由で本のページなどめくるのが困難な人などのために文字情報を音声に変換することです。

私ども「音訳サポート部」では、視覚障がい者の方々を対象に、ご希望の方に定期的に録音資料（主にCD）を提供しています。活動を通して、障がいがある方の読書活動をサポートしませんか！

≪ 音訳データ提供までの流れ ≫

社説・コラムを  
録音



編集／CDに  
書き込み作成

リスナーに  
発送



録音は音訳者・モニター・操作編集者の3人一組で行います



デイジー図書作成マニュアルに沿って編集、CD書き込み、データ保存、再生確認の順で作業します



リスナーは専用機器のプレクストークあるいはPCで再生して聴くことができます

デイジーとは「アクセシブルな情報システム」と訳され、カセットテープに代わるデジタル録音図書の国際標準規格としての開発と維持が行なわれている情報システムのことです。公共図書館やボランティアグループでは、このシステムを使って様々な音声を録音・編集し、CD-ROMに書き込んだものを「デイジー図書」として幅広い分野で活用しています。

## « 活動日時と内容 »

活動	定期	不定期	
	図書録音	部会	
日時	◇社説 月3回（上旬・中旬・下旬） ◇コラム 月2回（上旬・下旬） （各3名担当）	毎月第4金曜日 10:30～13:00	不定期
場所	3階 録音室	2階 集会室	3階 録音室
内容	朝日新聞「社説」「序破急」 朝日新聞「天声人語」 読売新聞「編集手帳」	・活動報告や会員相互の情報交換 ・翌月の担当決め	草加市（郷土）に関わる作者の小説や歴史的文献

## « ボランティアの声 »

- ・音訳する時には、時事用語（アルファベット略語、IT 関連）人名・地名等の固有名詞や、短歌・俳句類の古語の読み方を事前に調べておくことが必要です。また、各自、数回の朗読練習はするようにしています。読み方に自信がない時は他のメンバーとお互いに確認しています。
- ・新聞記事の収集も大事な事柄です。部員同士協力し合って原稿を持ち寄っていますが、最近ではインターネットでホームページを利用する機会も多くなりました。
- ・またリスナーから何らかのリアクションがあった時には「音訳サポート部で活動して良かった」と心から感じます。



**<部会の様子>**  
和やかな雰囲気です  
ぜひ、見学に来てください！

## « リスナーの声 »

- ・定期的な配付図書を楽しみに聴いています。特に社説論調で編集者（新聞社）とは、時に意見は異なりますが、世相や社会動向に対する批判に興味を沸かします。
- ・視覚障がい者の使うパソコンソフトに年々使いやすいものが出てきて、私みたいにジャンルや発行元別に本棚（フォルダー）で保存する方が増えています。プレクストークの再生・保存の音声確認より、タイトルや見出しで容易に引き出せるので快適に使っています。

« よくあるご質問 »

Q 音訳に必要な資格はありますか？

A ありません。お話や読み聞かせ、朗読がお好きな方はいつでも大歓迎です。最初は録音作業を見学していただき、次からは徐々に参加していただきます。録音再生を通して自分の肉声が確認できるのは楽しいものですよ。



Q 何かテキストのようなものはあるのですか？

A 埼玉県図書館協会発行の「録音資料製作マニュアル」が参考資料になります。

Q 操作編集はむずかしいのでしょうか

A 簡単なマニュアルをベースに、先輩ボランティアが機器操作の指導援助をします。多少パソコンを使われる方は基本さえわかれば簡単なマニュアル版を見ながら操作できると思います。しかし「習うより慣れる」の実践第一で進まれた方が早道のようにです。

ご興味のある方はぜひお声がけください。

部員一同お待ちしております。

«お問合せ先 »

草加市立中央図書館内 ボランティア室

(TEL) 048-946-3000 (FAX) 048-944-3800